

している教員が多いことは認識している。改善には、ICT機器を活用した校務システムの構築や学校支援地域本部の取組みなどが有効と考える。**安心して住み続けるために**

【質問】高齢低所得者、子育て世代への公的家賃助成を。

【区長】厳しい財政状況の中、区が単独で家賃助成制度を創設することは困難。



中妻じょうた (民主党)

核燃料輸送事故に備え

【質問】①柏崎刈羽原発の再稼働には反対すべき。②核燃料輸送と他の災害との複合災害への対応は。③核燃料の輸送ルートとなる外環道沿線自治体と原子力防災協定を締結すべき。区長の見解は。

【区長】①国が方針を決定すべきもの。②それぞれの災害に対応し、対策を講じる。③連携のあり方を研究する。

学校選択制の廃止

【質問】学校選択制は廃止し、指定校変更制度とすべき。

【教育長】可能な部分から選択制見直しに着手する。

災害時要援護者支援の充実

【質問】災害時要援護者支援条例を制定し、要援護者名簿の有効活用をはじめ、総合的な対策を推進すべき。

コミュニティバスの展望

【質問】コミュニティバスの今後の展開をどう考えるか。

【区長】25年度中に検討会による評価を行い、今後の方向を決定する。

交通事故の予防のために

【質問】東坂下二丁目の中山道で、車道横断中の児童の死亡事故が起こった。横断禁止措置を強く要望する。



佐藤としのぶ (民主党)

積極的な施設の活用

【区長】車道横断を防ぐため、中山道の中央部に工作物の設置を検討する。

【質問】①文化会館の会場業などで、施設の利用率向上



長瀬達也 (合同クラブ)

運転業務委託の見直し

【質問】①区は、業務で使用する自動車の運転を業者に委託している。区職員が自ら運転して経費を削減すべき。

②コストが安いタクシーなどの利用を検討すべき。

孤独死のない社会をめざして

【質問】孤独死を防ぐには、緊急通報システムの利用が有効。システムの利用者の条件を緩和し、高齢者の利用を促進すべき。

保育環境の充実のために

【質問】家庭福祉員が保育する子どもの死亡事故があった。保育は複数の福祉員で行うとともに、福祉員の家にはAEDを配置すべき。

緊急通報システム



【区長】財政状況を考慮しながら条件緩和を検討する。以上のほか、収入未済の減少策、子どもの安全について質問があった

が空いている日程に、有名人の興業などを誘致し、地域の経済効果喚起を。②文化会館に大型液晶ビジョンを設置し、情報発信と広告収入を。

イベントの情報発信に工夫を

【質問】いたばし花火大会や板橋Cityマラソンなどの各種イベントは、テレビやインターネットで放送を行い、情報発信と放映権や広告による収入をめざすべき。

【区長】各事業の中継や広告収入の可能性を検討する。



板橋区立文化会館

【質問】①文化会館の会場業などで、施設の利用率向上



坂本あずまお (自民党)

広聴広報の抜本的な強化

【質問】①情報発信力、情報収集力を強化するため、区の広聴広報に対する姿勢はどうあるべきか。見解は。②広報の発信力はあふれんばかりの積極性と目的に向かっている。常識や既成概念にとらわれない活動を実施すべきでは。

【区長】①職員一人ひとりの意識改革を図るとともに、ターゲットを明確にした戦略的な広報を全庁的に推進していくことが必要。②既成概念にとらわれない、独創性に富んだ広報活動の推進に向け、職員の意識改革を進めつつ、組織体制を構築していく。

確実なスピードある政策の実現のために

【質問】個人情報保護制度そのものが、健全な社会を構築することへの足かせとなっているのではないかと懸念されている。情報公開及び個人情報保護審議会での様々なルールや規則について抜本的な見直しを。

【区長】個人情報保護を保護しながら政策に有効活用する方針については、情報公開及び個人情報保護審議会などでの

収入未済額および不納欠損額の減額を求めて

【質問】23年度一般会計決算における収入未済額は56億600万円、不納欠損額は4億4千万円と巨額である。収入未済や不納欠損の発生は、負担の公平性を著しく損ね、区民に説明がつかない。区長の見解は。

【区長】収入未済や不納欠損は、負担の公平性の立場から放置できない。縮小に向けて、一層の努力をしていく。以上のほか、病児保育について質問があった

地域色豊かな文化のために

【質問】地域ごとに開催されている小さなイベントは、地域のポテンシャルとして大切にすべき。地域で開催されている数多くのイベント情報について検討する。

【教育長】①搬入トラックが歩道にはみ出して搬入作業を行っている状況であるため、搬入業者には歩道にはみ出さずに駐車するよう指導した。学校施設改修の際は、多様な視点から設計や施工を行うよう、施設管理担当と連携して取り組んでいく。



元山芳行 (自民党)

収入未済額の確保を求めて

【質問】税外収入の確保を進めるため、職員に広告宣伝分野でのクライアント探しなどの営業活動をさせてみては。

【区長】歳入が落ち込む中、広告収入の拡大は懸案課題である。今後も他自治体の状況を調査しながら、新たな広告媒体の積極的な導入などを計画的に推進する。

配慮ある公共施設の改修

【質問】①赤塚支所の駐車場看板が障害となり、敷地内にバスが進入できない。看板設置場所の改善を。②志村第三中学校給食室の食材搬入口では、食材を搬入するトラックが搬入時に道路を塞いでし



赤塚支所駐車場入口の看板

【区長】①限られたスペースの中における看板の適切な位置、電気配線や玄関前のタイル敷きの強度、移設経費なども含めて、移設の可能性に

意見聞きながら検討する。文化活動の主体である区民への支援を

【質問】多くの区内文化団体は情報発信が苦手である。文化団体の作成したホームページを、区や財団のホームページとリンクさせられないか。

【区長】文化団体などが作成したホームページを、区や文化・国際交流財団のホームページとリンクするなど、活動をより活性化させるための情報提供の面から支援を進めていく。

は、地域センターを經由して本庁で一体的に把握を。

【区長】まつりやイベントの実施主体や目的も多岐にわたっているため、区としてどの団体のどのような行事を把握すべきか、今後研究する。

区民の隠れた功績を把握せよ

【質問】区民文化庁は区民文化栄誉賞において、区民の功績の把握と奨励に努めよ。

【区長】区民文化国際栄誉賞などの顕彰制度や募集案内について、より一層の周知に努めることにより区民の功績の把握と顕彰を図れるよう、顕彰制度を実施している板橋区文化・国際交流財団にも働きかける。

このため、話し合いなどの際には、親切・丁寧な対応を心掛けていく。②現在、具体的な整備や助成内容などを都と協議しており、25年度から事業を実施する。

【質問】23年度一般会計決算における収入未済額は56億600万円、不納欠損額は4億4千万円と巨額である。収入未済や不納欠損の発生は、負担の公平性を著しく損ね、区民に説明がつかない。区長の見解は。

【区長】収入未済や不納欠損は、負担の公平性の立場から放置できない。縮小に向けて、一層の努力をしていく。以上のほか、病児保育について質問があった

【質問】23年度一般会計決算における収入未済額は56億600万円、不納欠損額は4億4千万円と巨額である。収入未済や不納欠損の発生は、負担の公平性を著しく損ね、区民に説明がつかない。区長の見解は。

【区長】収入未済や不納欠損は、負担の公平性の立場から放置できない。縮小に向けて、一層の努力をしていく。以上のほか、病児保育について質問があった

(裏面に続く)